

おばま



# 市議会だより



(満開の枝垂れ桜：妙祐寺にて)

平成16年4月26日

No. **99**

編集・発行 小浜市議会広報委員会

## 主な内容

- 平成16年度当初予算を可決しました・・・・・・・・・・ P2
- 3月定例会の議決概要および請願等の審議結果・・・・・・・・ P2～P3
- 3月定例会の一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・ P4～P7
- 『使用済み核燃料中間貯蔵施設の誘致に関する請願』の審査概要・・ P8

[http://www.city.obama.fukui.jp/gikai/frame\\_top.htm](http://www.city.obama.fukui.jp/gikai/frame_top.htm)

# 16年度一般会計予算額 135億5,917万円

(小浜市民一人あたり 約40万4,380円)  
平成16年4月1日現在人口33,351人

※かつこ内は市民一人あたりの金額。十円未満の端数は調整してあります。

<b>矢印の意味</b> (対前年度比) -5%~ -3~-5% ±3% +3~+5% +5%~	<b>消 防</b> 5億2,882万円 (15,770円)	<b>農林水産</b> 14億1,124万円 (42,090円)	<b>総 務</b> 16億6,624万円 (49,690円)	
	<b>議 会</b> 1億9,594万円 (5,840円)	<b>商 工</b> 8億5,270万円 (25,430円)	<b>民 生</b> 27億3,436万円 (81,550円)	
	<b>公 債</b> 22億0,987万円 (65,910円)	<b>土 木</b> 13億9,102万円 (41,490円)	<b>衛 生</b> 13億0,599万円 (38,950円)	
	<b>参考：市税</b> 34億5,541万円 (103,050円)	<b>教 育</b> 11億5,774万円 (34,530円)	<b>労 働</b> 9,525万円 (2,840円)	

平成十六年第一回定例会において平成十六年度小浜市一般会計予算をはじめ十三件の当初予算案を議決しました。

本年度は夏に市長選挙を控えソフト事業中心の骨格的予算方針で一般会計ベースで昨年度に比べ約六、八%減となる予算編成となりました。また、政府の行う『三位一体の改革』の影響により本市の主要な財源である『地方交付税』が減額される見込みから本市をとりまく財政状況は依然として厳しいものとなっており、

その中において事務事業評価を通じて事業の見直し、歳出の精査を行い、行政サービスの確保に努めてまいります。

## 平成十六年度当初予算案を可決しました

## 3月定例会の議案件数と結果について

3月定例会日程	
3日	本会議 会期決定・報告・議案(補正予算等)上程・質疑・討論・採決・議案(当初予算等)上程
4日	質疑・委員会付託
5日~8日	休 会
9日~10日	一般質問
11日~23日	休 会(委員会審査)
24日	本会議 常任委員長報告・質疑・討論・採決

**議 案 四十二件**

内 訳

- (三月三日議決分)
  - ・原案可決 十三件  
(平成十五年度小浜市一般会計補正予算(第七号)ほか)
- (三月四日議決分)
  - ・原案可決 一件  
(議員の派遣について)
- (三月二十四日議決分)
  - ・一般会計予算 一件(原案可決)
  - ・(一般会計歳入歳出総額を)一三、五五九、一七三千元へ)
  - ・特別会計予算 十件(原案可決)  
(平成十六年度小浜市国民健康保険事業特別会計予算ほか)
  - ・事業会計予算 一件  
(平成十六年度小浜市国民宿舎事業会計予算ほか)

平成十六年三月三日から二十四日までの二十二日間の会期で開催されました平成十六年度第一回定例会は、平成十六年度小浜市一般会計予算を初めとする四十二件の議案を議決し閉会いたしました。

議決の内容は次のとおりです。

**陳 情 一 件** (陳情不採択)

○陳情第二号  
使用済み核燃料中間貯蔵施設の誘致をしないでください  
陳情者  
若狭小浜の文化と自然環境を守る会  
会長 永井 彦夫

**請 願 一 件** (請願採択)

○平成十五年請願第二号  
使用済み核燃料中間貯蔵施設の誘致に関する請願書  
請願者  
市民政策研究会  
会長 松尾 剛  
紹介議員 山本 益弘

・条例 八件(原案可決)  
(小浜市部設置条例の一部改正についてほか)

・意見書案 一件(原案可決)  
(北朝鮮による拉致被害者家族の早期帰国および特定失踪者の真相究明に関する意見書)

・決議案 一件(原案可決)  
(使用済み燃料中間貯蔵施設の誘致推進に関する決議)

・その他 四件(原案可決)  
(辺地の総合整備計画の策定および変更についてほか)

・人事案件 一件(原案同意)  
(監査委員の選任について)

逸見 壽一氏 (小浜市木崎) ※再任

## 監査委員の選任に同意

三月定例会常任委員会 主な質疑・意見の概要

《企画総務常任委員会》

小堂 清之 委員長

議案第十四号、議案第三十四号は賛成多数をもって、議案第三十六号、議案第二十七号、議案第三十二号は全員賛成をもって可決すべきものと決しました。以下は審査中の主な質疑です。

●議案第十四号 平成十六年度小浜市一般会計予算について  
歴史遺産等活用推進事業について、世界遺産への登録をめざすということであるが現実的な可能性、信憑性は。

A 珍しい多神教地であり歴史と文化と自然がマッチした形の複合遺産として可能性は十分あると言われた。将来的ビジョンとして、まず世界遺産登録への前段となる暫定リスト登録をめざし、県・国を巻き込んで市民に理解を求めながら前向きに進めていきたい。

Q 拉致関係の予算について、家族が帰ってきた時に充分対応できる予算であるか。  
A カリキュラムに基づいた執行をするには十分な予算であるが、いろんな問題が出てくることも予想され、カリキュラムが全てではなく変更も考えられる。日本の社会環境相応の支援をしていきたい。

Q 税金の徴収に努力されている中、数字として徴収額に反映されない原因は。  
A 市税の滞納額が十五年度は三億七六〇〇万円、十六年度には四億円近くになることが予想され、本年度については収納率、収納率も上がっているが、大口滞納者の整理が進んでいない。現状のまま推移すると毎年四千万円ずつ滞納繰越が増え厳し状況になるという観点からも大口滞納者を放置せず新規の滞納繰越者も生まれないよう検討・努力する。

●骨格的予算ということであるが、歳入については市税滞納部分、新しく課税される部分等、予算計上額に達成できるよう、また市民の

税負担の公平性の意味からも、収納率九〇％以上確保に全力をあげて努力されたい。さらに滞納が増えていることに関し、今日の厳しい経済状況の影響もあると思われるため、支払い易い方法を検討願いたい。(意見)

●議案第三十四号 辺地の総合整備計画の策定および変更について  
田島辺地・蛙端線は期間が平成四年度から平成二〇年度と大変長期で、区間の延長・事業費も大幅な増額になるが、今日の財政状況が厳しいなか無駄な公共事業を継続する必要はあるのか。

A 平成十五年の完成予定であったが、当初の計画では頂上付近での道の傾斜が大変急であり、工法が変更され、期間・事業費も変更になった。現在のこと、また本線は広域基幹林道に接続することによって成果が出るものと考えており、期間・事業費については、査定の中で精査し継続してやらせていただきたい。

●《まちづくり常任委員会》  
池田 英之 委員長  
当委員会に付託された十三議案とも全委員の賛成をもって可決すべきものと決しました。以下は審査中の主な意見です。

●議案第十四号 平成十六年度小浜市一般会計予算について  
琵琶湖若狭湾快速鉄道住民の生活補助金を将来 琵琶湖若狭湾快速鉄道建設の将来展望を明確にし、着実な運動の展開を求める。(意見)

●防犯隊設置事業について、安全、安心について、住民の命と財産を守る取組み強化を求める。(意見)  
●若狭小浜大漁市事業補助金について、大漁市への補助金等、事業成果も踏まえ補助金のあり方を全庁体制で検討されたい。(意見)  
●観光宣伝事業に関連して、若狭路

博の経験を生かし継続性のある取り組みを願いたい。(意見)  
●若狭おばま観光協会活動事業補助金について、食のまちづくりの中で、王国に見合った食材の提供ができる指導をされたい。(意見)  
●食のまちづくり実践活動推進事業の中で行う「若狭の魚はなぜうまいのか」実証検分補助金について、対象となる魚はマサバだけでなく、のり、再検討されたい。(意見)

●食文化館管理運営事業について、食文化館の入場者の確保には最大限の努力を願いたい。(意見)  
●地域水産物提供施設管理運営事業について、公の食事提供場所からのもちづくり条例等の整合性を図り、環境に対応されたい。(意見)

●道路維持費について、区長要望など住民に密着した事業の予算については補正も含め適切に対応されたい。(意見)  
●高速道路対策費について、近畿自動車道教習線の早期完成に向けて地元理解を得られるような指導体制を發揮していただきたい。(意見)

●公営住宅管理経費について、家賃滞納には法令等に基づく適切な対応を望む。(意見)  
●議案第二〇号 平成十六年度小浜市下水道事業特別会計予算について  
未整備区域についてはその早急な完成を求めるとともに、特に公共下水道の未加入者の加入促進を強力に推進されたい。(意見)

●《民生文教常任委員会》  
山本 益弘 委員長  
当委員会に付託された六議案とも全委員の賛成をもって可決すべきものと決しました。以下は審査中の主な質疑です。

●議案第十四号 平成十六年度小浜市一般会計予算について  
次世代育成支援対策推進事業について地域性を重視する必要がある

がそのあたりの取り組みは。アンケート調査についても国が指定する項目に加え、小浜市独自の項目を考慮してあり、本市独自の現場の方に入ってもらった上で、生の声を聞いて策定していきたい。

●保育所費保育園統廃合および民営化推進事業の狙い、根本的な考え方は。  
A 地域の園児や施設の状態などの実情を良く踏まえ、模索していきたい。保護者のニーズ、市民の理解は大切であり、またサービスの維持は最も大切なので、その流れの中で検討したい。検討委員会の中でも幼保一元化の話があり、今後の協議を進める中で、教育委員会との連携を図ることも検討したい。

●御食園若狭おばま食の推進事業について具体的な取り組み内容。  
A 来年度からは全校対象に入学すること計画しており、各校の年間の指導計画に基づき地域の実態に合った食を生かした地域を推進。食文化の学習や地場産食材の学習、食文化館での子供料理教室の開催などの取り組みを予定。

●小中一貫基礎学力向上対策事業はどのような計画か。  
A 算数・数学の学力向上対策、国語力の学力向上対策、英語力の学力向上対策の三本柱を中心に今までの基礎学力の向上に加え、発展的な学習を進める事業。学力テストの分析や実践発表会の実施、公開研修会の実施などに取り組み、小中学校の教員が教科ごとに話し合う事業となっている。

●十五年度実施された小学校の耐震診断の結果は。  
A 十五年度は加斗小学校、遠敷小学校、国富小学校の三校の校舎を中心に耐震診断を実施し、ある程度予想していたとおりE判定にしていると聞いている。すべての学校について耐震診断を行いたい。当面は小浜小学校の建設が控えており、

市全体のビジョンの中で対応を進めていきたい。耐震結果では、内外海小学校以外は改築が必要になる。グラウンド施設管理経費について、除草剤を購入するところがあるが、市が食のまちづくりを進めている中で、公的施設で除草剤を使用することは食のまちづくりに反してほしい。そのあたり十分に配慮してほしい。これからは除草剤を使用しない除草方法を検討する。少なくとも公共施設ではこれらに配慮したい。

●公民館ボランティア事業について、ボランティアを募集すること、公民館に今まで地域づくりに貢献しようとして集まってきた人が、物事を打算的に考えようようになる。実施したとき、小浜市の将来的な損失に結びつく。小さい予算だが大きな課題を残す。執行にあたっては公民館活動費として公民館の裁量で使えるようにすべきと意見があり、委員会としても当初の運用では認めず、理事者に対して当該事業の円滑な運用方法についての再検討を申し入れ、事業名は当初のままであるが、有償ボランティアという概念をなくし、支出、運用の方法については様々な方法を検討したいとの答弁がありました。

●議案第十九号 平成十六年度小浜市老人医療特別会計予算について  
老人医療費が上昇しているがその原因は。予防の面からもしっかりととした取り組みが必要と思うが、原因としては、慢性疾患が多い。制度改正により対象人数が減少したが、一人あたりの医療費が高額になっている。介護も老人福祉も一番は病院にかからないことであり、介護予防に對しての取り組み、要介護者を増やさない取り組みが一番。

●食は予防の面でも大切。小浜らしい取り組みをしてほしい。(意見)

●食は予防の面でも大切。小浜らしい取り組みをしてほしい。(意見)